

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

ICT活用「みんなで研修」プログラム①

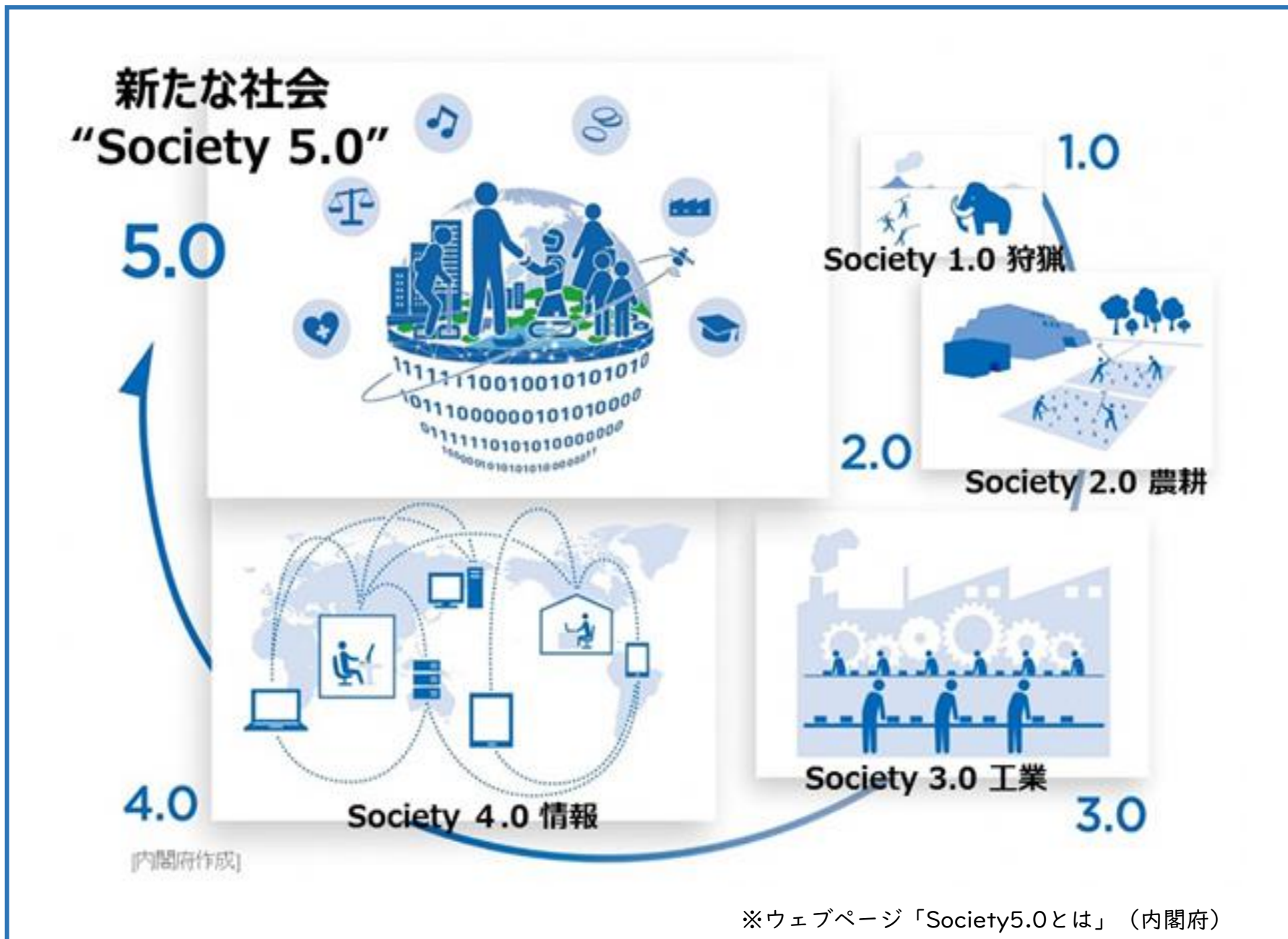
今日的に求められる
教育の情報化

内容

- 1 「教育の情報化が求められる背景」
- 2 「情報活用能力の育成と
教科指導におけるICT活用」
- 3 「GIGAスクール構想の実現に向けて」
- 4 「ICT活用授業指針について」

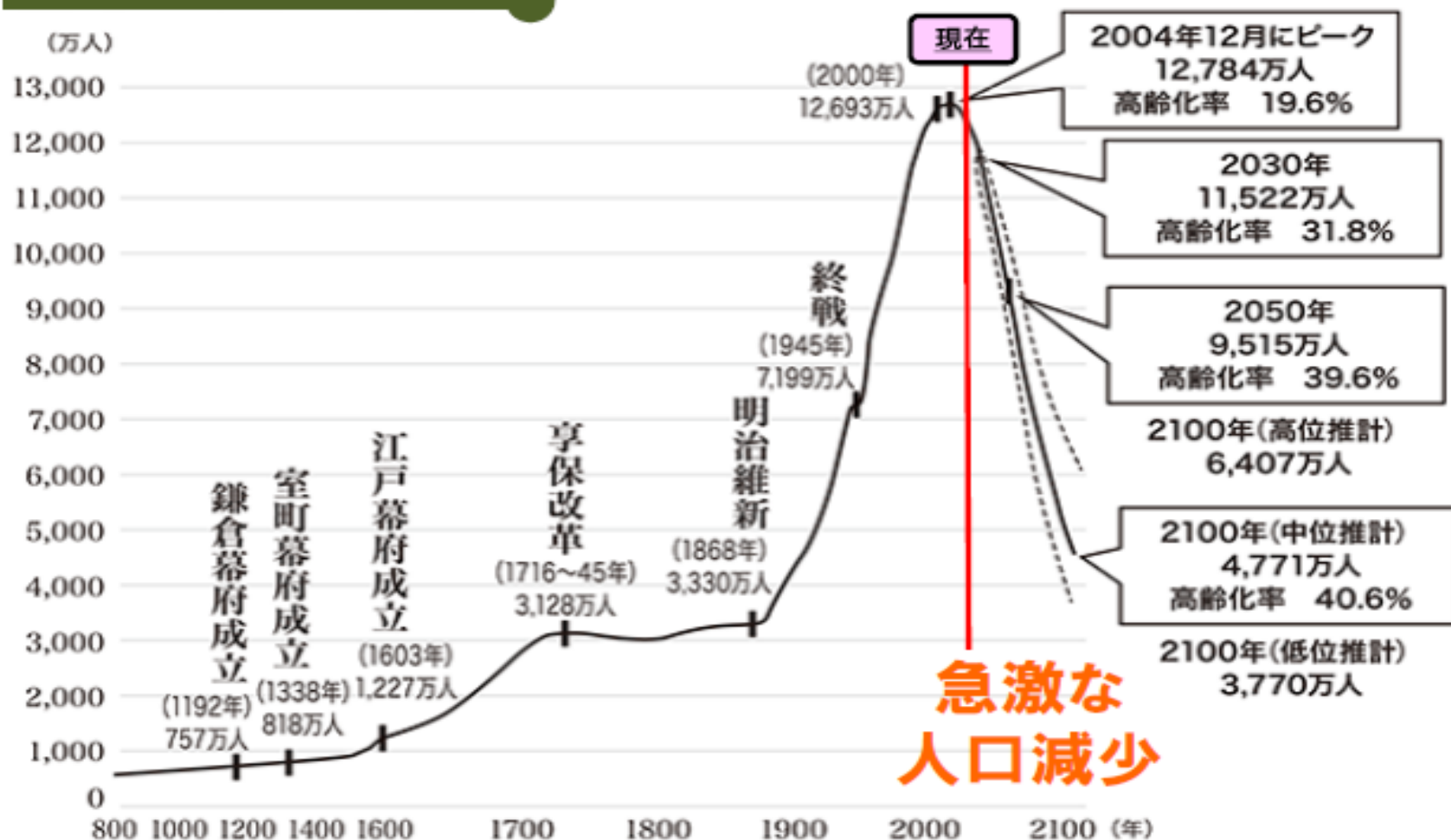
1 教育の情報化が求められる背景

1 教育の情報化が求められる背景



1 教育の情報化が求められる背景

日本の人口予測



日本の総人口の長期的トレンド

(出所)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間補正人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

2 情報活用能力の育成と ICTを活用した学習活動の充実

2 情報活用能力の育成とICTを活用した学習活動の充実

学習指導要領の情報教育・

ICT活用教育関係のポイント

小・中・高等学校共通のポイント

- 情報活用能力を、言語能力などと同様に
「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け
- 学校のICT環境整備とICTを活用した
学習活動の充実を明記

2 情報活用能力の育成とICTを活用した学習活動の充実

情報活用能力の育成

A 情報活用の実践力

- 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用
- 必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造
- 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達

B 情報の科学的な理解

- 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解
- 情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

C 情報社会に参画する態度

- 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解
- 情報モラルの必要性や情報に対する責任
- 望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

【取組例】

- ICTの基本的な操作、情報の収集・整理・発信

(文字入力、インターネット閲覧、情報手段の適切な活用等)等

- プログラミング

(コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みの理解)等

- 情報モラル

(情報発信による他人や社会への影響等)

2 情報活用能力の育成とICTを活用した学習活動の充実

学習指導要領の情報教育・

ICT活用教育関係のポイント

小・中・高等学校共通のポイント

- 情報活用能力を、言語能力などと同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け
- 学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を明記

2 情報活用能力の育成とICTを活用した学習活動の充実 学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

3 GIGAスクール構想の 実現に向けて

3 GIGAスクール構想の実現に向けて

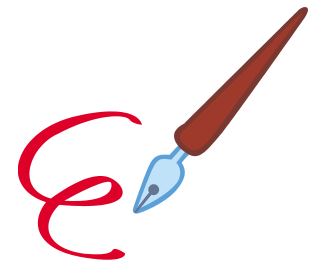
G I G Aスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



整理しましょう

学習指導要領やGIGAスクール構想の趣旨を踏まえ、学校では、これからどのような取組が大切でしょうか。



4 ICT活用授業指針について

ICT活用授業指針(概要)

～「学びの深化」「学びの転換」へのチャレンジ～

北海道教育委員会

学習指導要領

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 情報活用能力等の学習の基盤となる資質・能力の育成
- コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用した学習活動の充実

GIGAスクール構想

- 1人1台端末と高速通信環境がもたらす学びの変容
- 一人一人に個別最適化された教育による、資質・能力の確実な育成
- ICT環境の実現による学習活動の一層の充実

趣旨

道教委では、各学校におけるこれまでの教育実践の蓄積を生かしつつ、現状の課題を克服し、これからの時代のスタンダードとして、授業における1人1台端末の適切な活用が、全道の小・中学校、高等学校、特別支援学校等において確実に実践されるよう、ICTを活用した授業の目指す姿と、その実現に向けた具体的方策を示すこととしました。

ICT活用授業の目指す姿

適切な情報活用能力の育成

身近な道具の一つとしてのICT機器

学びの質を高めるためのICT活用

個別最適化された教育の実践

子どもの障がいの状態や特性に応じたICT活用

教員の業務負担軽減と子どもに向き合う時間の確保

ICT活用授業指針の具体的方策

- 【unit1】 ICTを活用した学習の段階的な導入
- 【unit2】 学習過程を踏まえた効果的なICTの活用
- 【unit3】 子どもの発達段階に応じたICTの活用
- 【unit4】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- 【unit5】 ICTを活用した新しい学習サイクルの実践
- 【unit6】 教員のICT活用指導力を向上させる取組



Society5.0に向けて学校もアップグレード

「学び」
「学習」
「勉強」

ICTを活用した授業が求められています。

でも、ICT機器を使うこと自体が学習の目的ではありません。

授業などでICT機器を効果的に使うことで、今まで以上によく理解できたり、様々な表現ができたり、深く考えたりするなど、学びの質を向上させることを目指しています。



ICTを活用した授業モデルや関連資料はポータルサイトで公開

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/>

ICT教育推進局ICT教育推進課

4 ICT活用授業指針について



↓★授業等でICTを活用する小さなヒント(Tips)はこのボタンです

授業モデル【Tips編】

↓★1単位時間の授業におけるICTの活用はこのボタンです。

授業モデル【デザイン編】

◇リーフレット【Tips編】&【デザイン編】

↓★ICT活用をスタートする際に、最初に必要となる情報をコンパクトにまとめました。

ICT活用ミニハンドブック

授業モデルなど、ICT活用に関する資料が掲載されています。

「ICT活用授業指針」は、こちらからダウンロードできます。

↓★ICT活用授業の趣旨や目指す姿などはこのボタンです。

ICT活用授業指針

◇リーフレット



ICT活用「みんなで研修」プログラム

- ▶ ICT活用の基本的なポイントを短時間で
- ▶ 職員会議や校内研修などの機会にみんなで研修
- ▶ 本道における取組を紹介
- ▶ 幅広いテーマの研修資料を追加

アンケートの入力を
お願いします。

